

事例概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

水道橋 久 さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 渋谷 ワカコ さん

事例タイトル	中学進学にあたり、支援学校または、支援級へ進学するか検討する事例
相談経過の要約	久さんは、A市で2人兄弟の長男として出生。初語や歩行が少し遅かったが、3歳児健診では特に保健師の指摘事項は無かった。小学1～2年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く、席を立てて教室内を歩き回り、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあった。 小学校3年生からは、自閉症・情緒支援の特別学級に移った。 小学校6年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から担任へ相談した所、支援学校への進学を勧められた。同時に児童相談所での相談を勧められ、療育の判定を受け、軽度の知的障害との判定がでる。 10月より放課後等デイサービスを週3回（月・水・金）利用開始となる。 ご家族は、進学について悩まれている。 家でも学校でもトラブル多く、お母様が精神的に参ってきている。
年齢・性別・家族構成・家族状況	年齢11歳 性別（男性）A市生まれ。 家族構成 父：職業は大工 母：主婦 弟：小学1年生
手帳・区分	療育手帳：障害程度は軽度 障害支援区分 3 通所受給者証あり
療育の判定	ADHD・自閉スペクトラム症 IQ68 日時、時刻 ～ カレンダーの日付は理解できるが、時刻は分単位の理解が難しい。 数・数量 ～ 1桁までの加減はできるが、2桁になると難しい。 お金の計算は難しい。 書字 ～ ひらがなは書くことができる。 読み ～ ひらがなは読むことができる。 聞き取り ～ 集団の場では、聞き取ることが難しい。 話すこと ～ 自分から積極的な会話は無いが、受け答えは出来る。 比較・推測すること ～ 集団の場での学習は集中力に欠けるため、個別対応できる環境を整えることが大切。